

## METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

## 特集 英語科教育法履修生 TGG 英語学習体験

6月12日(土)に英語科教育法を履修する英米語学科教職課程3年生16人は、東京都江東区にあるTOKYO GLOBAL GATEWAY(以下、TGG)を訪れ、英語学習体験プログラムを受講しました。教職課程センターの百瀬教授と金子教授が引率をしました。TGGは、東京都教育委員会と株式会社TOKYO GLOBAL GATEWAYが提供するまったく新しいタイプの体験型英語学習施設であり、2018年9月に開業しました。



TGGでの共通語は英語という環境になっており、日本にいながら外国生活を体験できる施設となっています。学生8人につき1人のイングリッシュ・スピーカーが入場時から施設を出るまで一緒に行動しました。SDGs(Sustainable Development Goals)をテーマとして、国際社会問題についてディスカッションや発表を行ったり、キャンパスライフ・ゾーンで「学生センター」「ブックストア」「カフェテリア」の3エリアを順番に通りながら与えられた課題を英語を使い解決し、英語圏のキャンパスライフを体験しました。

## &lt;参加学生2名の体験談&gt;

○高橋凜さん:「All EnglishでSDGsについて話し合い、海外の生活を疑似体験することができ自信につながりました。また、TGGのエージェントの英語表現や表情、ジェスチャーなど教育の場に活用できるものがたくさんあり、勉強になりました」

○及川龍之介さん:「TGGでの体験は最高でした。TGGでは基本的に1つのアクティビティに1つの場面(カフェの注文、書店での返金など)が設定され、自分の意見を相手に伝えますが、スタッフの方はイレギュラーな質問をしてくる。そのような状況は緊張しますが、アクティビティを重ねることで自分からどんどん話したいという気持ちになります。特別難しい単語を使う必要はなく、『自分の意見を伝える』ということが大切だと学びました」



## 足立区との連携による日本語指導研修会がリニューアル

足立区との教育連携に基づく「明海大学連携事業『小学校教員向け外国人等児童の日本語指導研修会』」が、Zoomで開催されました。外国語学部日本語学科・木山教授が講師を務めました。昨年度まで年1回の研修でしたが、現場の先生方の受講者の要望に応え今年度から年2回全4回のシリーズとして系統立てた内容で実施することにしました。今回は、その第1回として「複数言語環境にある児童の言語習得」と題し、日本語習得を課題としている外国籍児童が日本語を学ぶときに遭遇する困難点とそれを克服させる方法の解説と教師が児童に与える練習問題の作成演習などを行いました。



## 卒業生対象の教員採用試験面接練習

6月20日(日)に卒業生対象の集団面接練習を実施しました。対面で参加したのが4人、Zoomで参加したのが2人でした。千葉県の一次試験の集団面接は6人程度の受験者に2人の面接官が付き、受験者たちは与えられた教育課題に対して自分の解決策を述べた後、テーマに沿って討論をする形で進められます。今回はテーマとして「児童虐待への対応策」と「不登校問題への解決策」の二つを設定して本番と同じ時間設定で練習しました。参加した卒業生は全員千葉県の中学校に講師として勤務しているため、学校の実情に即した説得力のある解決策を提案していました。7月の採用試験本番に向けて着実に実力を高めています。



## 浦安市未来塾



浦安市青少年自立支援未来塾で中学生に対して本学経済学部・外国語学部の学生延べ17人が英語や数学を教えています。講師の一人である英米語学科2年の児島晴香さんは、「この未来塾は、生徒に“教える”という初めての経験で、正直まだまだわからないことだらけです。頼れる先輩や支援員の方々のサポートもあり、毎回楽しく参加することができています。生徒のわからない問題を一緒に解き、『わかった!』と笑顔でいつてくれた時は、とても嬉しくやりがいを感じています」と感想を述べました。

## 令和3年度教員養成機関等との連携による専門人材育成・確保事業受託決定!

明海大学は、文部科学省の公募事業「令和3年度教員養成機関等との連携による専門人材育成・確保事業」に応募し、提出案が採択されました。小学校教員養成課程を持たない明海大学が多数の応募の中から2年連続で採択されたことは快挙です!昨年度の事業と同様に小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)や新たに小学校英語教育学会愛知支部理事の協力を得ることとなりました。連携協定を結んでいる浦安市、足立区、横手市の3地区に、いわき市と妙高市の2市を加えて計5つの地域からの小学校教員約250人が外国語教育に関する講座を10回に渡り受講します。受講者が「明日の授業」に生かせる、いわゆるhands-on研修として位置づけて講座内容を構成します。具体的には、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やりとり)」「話すこと(発表)」「書くこと」の五つの領域ごとの研修講座と受講者が実施した実際の授業(動画)について研究協議を行う「授業研究」を中心とした講座を中心に行います。METTSでは、2年連続の事業受託を受けて小学校英語教育についてもさらに研究を進め、中高英語教員をめざす学生の指導に役立てていきます。

## 教育実習が本格化!

コロナ禍ではありますが、今年度は6月に入り教育実習に臨む学生の人数が多くなりました。各学校で実際に授業を行ったり、生徒たちと関わったりと貴重な学校体験の場となるのが教育実習です。教育実習を終えたばかりの英米語学科4年の嶋田宗晋さんは、「教育実習での一番の収穫は、生徒が社会に適応していくのに困らないように育もうとする現場の先生方の視点や考えについて学ぶことができたことです。私が担当した学年には、不適切な言葉遣いをしたり、授業準備等生活習慣が身に付いていなかったりする生徒がいましたが、そこで言葉の表現を工夫して、生徒自ら考え、判断できるように指導する先生方を目の当たりにして、学びを積み重ねる日々を過ごすことができました」と感想を聞かせてくれました。



アゴラ活用状況(人)	
5月	615
2018年度からの延べ数	34,628